

セゾン・ グローバルバランスファンド

追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第18期（決算日 2024年12月10日）

（作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月10日）

| 第18期末(2024年12月10日) | |
|--------------------|------------|
| 基準価額 | 26,498円 |
| 純資産総額 | 518,971百万円 |
| 第18期 | |
| 騰落率 | 18.6% |
| 分配金(税込)合計 | -円 |

- 騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧・ダウンロードいただけます。
<閲覧方法>
右記URLにアクセス⇒[商品ラインナップ]⇒[セゾン・グローバルバランスファンド]⇒[運用状況・レポート]⇒[レポート・動画レポート]
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン・グローバルバランスファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。この度、第18期決算を行いましたので、当期の運用状況をご報告いたします。

当ファンドは、米国バンガード社が設定したインデックス型の外国投資証券への投資を通じて、世界各国の株式および債券に実質的に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期間も変わらず、この方針に基づき運用を行って参りましたことを併せてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



セゾン投信

■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客さま窓口
〒170-6048 東京都豊島区東池袋3-1-1
[ホームページ] <https://www.saison-am.co.jp>
[電話番号] 03-3988-8668
[営業時間] 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）

運用担当者の紹介

セゾン・グローバルバランスファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、バンガード社のインデックスファンドへの投資を行うことにより、受益者の皆さまの長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

執行役員、マルチマネージャー運用部長、ポートフォリオマネージャー

瀬下 哲雄

主な役割 投資戦略の策定、具体的投資方針の策定

運用経験年数 18年

経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信(株)入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネージャー、2014年から運用部長、2021年からマルチマネージャー運用部長、2024年から現職。



◎受賞実績



「R&Iファンド大賞2024」 優秀ファンド賞を受賞しました。

格付投資情報センター (R&I) の選定する「R&Iファンド大賞2024」において「投資信託部門バランス型(標準)」で「優秀ファンド賞」を受賞しました。
受賞は4年連続となります。



「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2024」 最優秀ファンド賞を受賞しました。

「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2024」において、投資信託部門 評価期間「10年」/分類「ミックスアセット 日本円 バランス型」で「最優秀ファンド賞」を受賞しました。
受賞は3年連続となります。

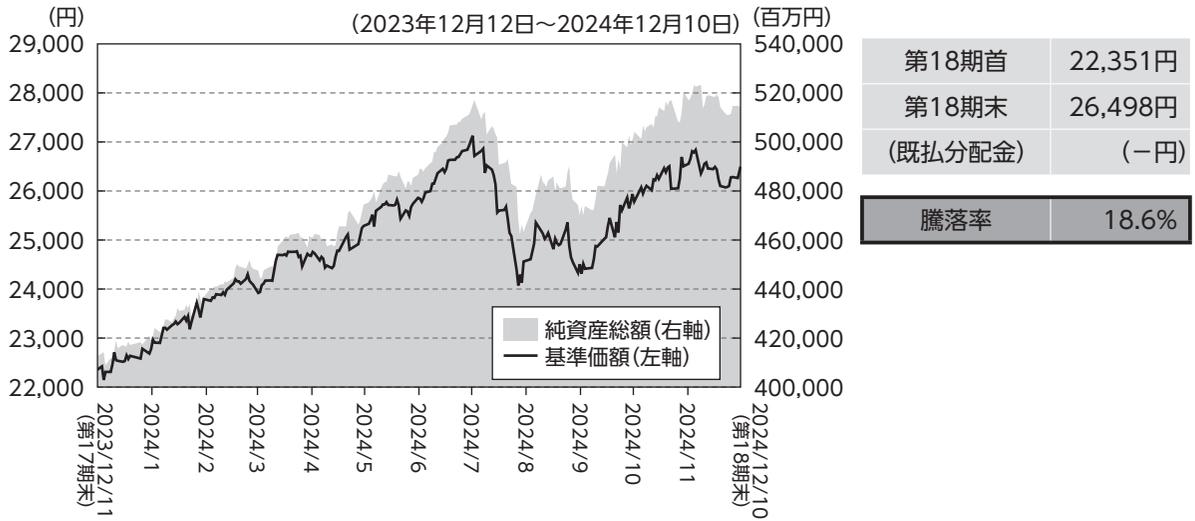


「“新NISA成長投資枠”WA優秀ファンド賞」 優秀ファンド賞を受賞しました。

「“新NISA成長投資枠”WA優秀ファンド賞」において、「バランス型部門」で「優秀ファンド賞」を受賞しました。

運用経過の説明

期中の基準価額等の推移



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。
- ・表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

ここをCHECK!

【基準価額の主な変動要因】

当期は、株式に投資するファンドの上昇と対ドル、対ユーロでの円安が基準価額の上昇要因となりました。

< 基準価額のプラス要因 >

| |
|---|
| バンガード・500・インデックス・ファンド (米ドル) |
| 対ドルでの為替レート (円安) |
| バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (米ドル) |
| バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (ユーロ) |
| バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (ユーロ) |
| バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (米ドル) |
| 対ユーロでの為替レート (円安) |
| バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド (円) |
| バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド (米ドル) |

期中騰落率
18.6%

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (円)

< 基準価額のマイナス要因 >

1万口当たりの費用明細

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|--|---------------------------------|---|--|
| | (2023年12月12日~2024年12月10日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社) | 124円 (67) (48) (9) | 0.495% (0.267) (0.193) (0.035) | (a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) その他費用 (監査費用) (その他) | 0 (0) (0) | 0.001 (0.000) (0.001) | (b) その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用 |
| 合 計 | 124 | 0.496 | |
| 期中の平均基準価額は24,999円です。 | | | |

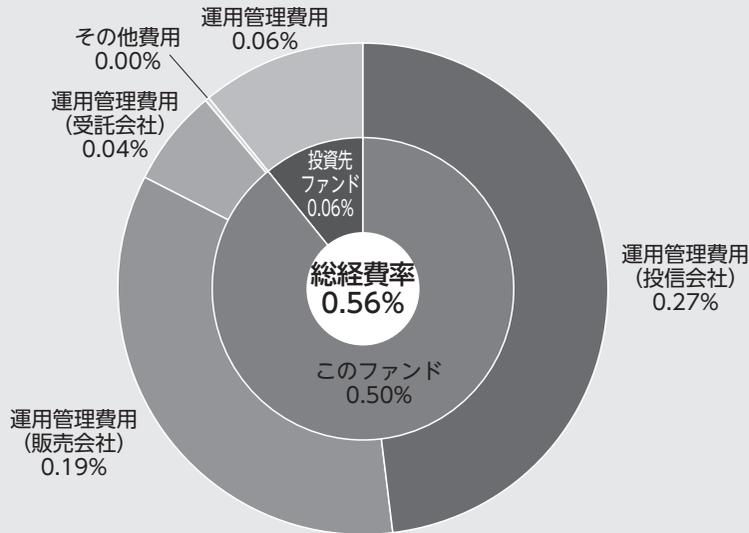
- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・各金額は各項目ごとに円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

👉 ここをCHECK!

<参考情報>

総経費率

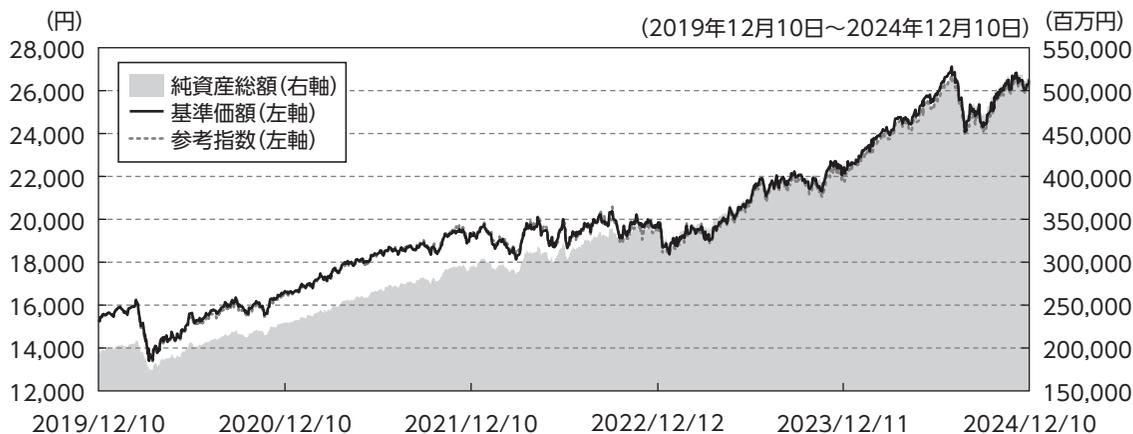
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.56%です。



| | |
|------------------------------|-------|
| 総経費率(①+②) | 0.56% |
| ①このファンドの費用の比率 | 0.50% |
| ②投資先ファンドの経費率(運用管理費用以外の費用を含む) | 0.06% |

- ・①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ・②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。小数点以下第2位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- ・①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



| | 2019年12月10日 決算日 | 2020年12月10日 決算日 | 2021年12月10日 決算日 | 2022年12月12日 決算日 | 2023年12月11日 決算日 | 2024年12月10日 決算日 |
|-----------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額 (円) | 15,268 | 16,651 | 19,206 | 19,645 | 22,351 | 26,498 |
| 期間分配金合計(税込) (円) | - | - | - | - | - | - |
| 基準価額の騰落率 (%) | - | 9.1 | 15.3 | 2.3 | 13.8 | 18.6 |
| 参考指数の騰落率 (%) | - | 8.7 | 16.8 | 1.0 | 13.3 | 19.5 |
| 純資産総額 (百万円) | 194,260 | 230,238 | 294,071 | 337,818 | 412,876 | 518,971 |

- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)とブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組み合わせた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額の反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。
- ・グラフの参考指数は、2019年12月10日の値が基準価額と同一になるように計算しております。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。



ここをCHECK!

<参考情報>

当期末(2024年12月10日)と5年前(2019年12月10日)の比較は以下のとおりです。

| | |
|--------------|------------|
| 基準価額の騰落率(5年) | 73.6% |
| 参考指数の騰落率(5年) | 73.5% |
| 純資産額の増加額(5年) | 324,711百万円 |

・騰落率は年率換算しておりません。

投資環境

【株式市場の概況】

株式市場は米国を中心に上昇しました。

米国は景気が底堅く推移するなかで、金融セクターなどが上昇したほか、人工知能(AI)の普及による収益拡大期待が高まったことを受けて情報技術セクターなどが上昇しました。欧州は景気の低迷が続いているものの、政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。日本は金利が上昇していくとの見方が広がったことを背景に金融セクターを中心に上昇しました。新興国は、中国が政府の景気刺激策への期待が高まって終盤に上昇したほか、AI関連投資拡大の恩恵を受けてTSMCが上昇した台湾や、経済の成長期待が維持されたインドが上昇しました。

セクター別では、AI関連投資の拡大やAI普及による業績拡大期待の高まりを受けて情報技術やコミュニケーション・サービスが大きく上昇したほか、米国で景気の先行きに対する楽観的な見方が広がったことを受けて金融が大きく上昇しました。

期の初めは、米国や欧州で政策金利の引き下げへの期待が高まるなかで上昇しました。その後は、米国や中国で景気の先行きに対する明るい見方が広がったことを受けて上昇しました。4月には、米国で物価上昇が続くことへの警戒が高まったことを背景に、政策金利の引き下げ観測が後退して下落したものの、その後は政策金利の引き下げへの期待が維持されたことや、人工知能(AI)の普及による企業業績拡大への期待が高まったことを受けて上昇しました。8月には、米国で景気減速への警戒が高まって下落する局面があったものの、その後は米国で政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。9月は米国とユーロ圏で政策金利が引き下げられたことや、中国で景気支援策が打ち出されたことを受けて上昇しました。10月は中東情勢の緊迫化懸念が高まったことや、米国で財政赤字の拡大懸念が高まったことを受けて、方向感のない展開となりました。11月以降は米大統領選挙でトランプ前大統領が当選したことを受けて、米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がって上昇しました。

【国債市場の概況】

国債市場は米国とユーロ圏が上昇し、日本が下落しました。

米国債は、期の初めに政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。その後は、景気の先行きに対する明るい見通しが広がるなかで物価上昇が長期化するとの見方が強まったことを受けて、政策金利の引き下げ観測が後退して下落しました。5月以降は、物価が落ち着きつつあるとの見方が強まり、政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。8月は景気が減速するとの見方が強まって上昇し、9月には政策金利が引き下げられたことを受けて一段と上昇しました。10月は大統領選挙を控えて財政赤字の拡大懸念が高まって下落しました。11月には政策金利が引き下げられたものの、米大統領選挙でトランプ前大統領が当選したことを受けて、景気刺激的な政策が打ち出されて物価の上昇が長期化するとともに、財政赤字が拡大するとの見方が強まって下落する局面がありましたが、その後は政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。

ユーロ圏の国債は、期の初めに政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。その後は物価上昇が長期化するとの見方が強まったことを受けて、政策金利の引き下げ観測が後退して下落しました。6月にはフランスで政治的な混乱への警戒が高まったことを受けて仏国債が下落し、安全資産としての需要が高まった独国債が上昇しました。7月以降は政治的な混乱への警戒が後退して伊国債や仏国債を中心に上昇し、9月には政策金利が引き下げられたことを受けて一段と上昇しました。10月は景気減速への警戒が強まるなかで、政策金利が引き下げられたことを受けて堅調に推移しました。11月はフランスで政治的な混乱への警戒が高まって仏国債がやや軟調に推移したものの、景気の先行きに対する不透明感が広がったことを背景に全体では上昇しました。

日本国債は、期の初めに米国やユーロ圏で政策金利の引き下げ観測が高まったことを背景に上昇しました。1月には日本銀行がマイナス金利を解除すると観測が高まって下落しました。3月は日本銀行がマイナス金利政策や

長期金利の抑制政策を終了したものの、国債の買入れを継続する方針を示したことなどを背景に底堅く推移しました。5月は政策金利の引き上げ観測が高まって下落しましたが、その後は底堅く推移しました。7月末には政策金利が引き上げられたものの、8月に国内の株式市場が大きく下落したことをきっかけに、政策金利の引き上げ観測が後退して上昇しました。その後は政策金利の引き上げが意識されるなかで、堅調に推移しました。11月は物価上昇が続いていることを背景に、政策金利の引き上げ観測が高まって下落しました。

【為替市場の概況】

円は下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。

引き続き、金利が高い通貨を買って金利が低い通貨を売るキャリートレードが市場の動きを主導するなかで、日本ではマイナス金利政策が終了し、その後も政策金利が引き上げられたものの、米国やユーロ圏での政策金利の引き下げペースが想定されていたよりも緩やかなものとなり、金利差が縮小していくとの見方が後退したことを背景に、円は対ドル、対ユーロで下落しました。ドルは米国で景気が底堅く推移するとともに、先行きに対する明るい見方が広がったことを背景にユーロに対して上昇しました。

期の初めは、日本銀行が金融緩和策を早期に縮小するとの見方が強まったことを受けて円が上昇し、対ドル対ユーロで円高となりました。その後は、物価上昇が長期化するとの見方が強まったことを背景に、政策金利の引き下げ観測が後退してドルとユーロが上昇する一方で、実質賃金の伸びが低迷していることなどを背景に、金融緩和の長期化観測が高まって円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。3月には、日本銀行がマイナス金利政策や長期金利の抑制政策を終了したものの、同時に緩和的な金融政策を維持する方針を示したことを受けて、ドルやユーロとの金利差が縮小していくとの見方が後退して、対ドル対ユーロで円安となりました。5月には日本政府による為替介入が行われて円が上昇する局面はあったほか、6月には日本銀行が金融緩和の縮小を進める方針を示したものの、ドルやユーロとの金利差が大きい状況が続くとの見方が維持されて対ドル対ユーロで円安となりました。7月には日本で金融緩和の縮小観測が高まり、7月末には政策金利が引き上げられたことを受けて円が上昇して、対ドル対ユーロで円高となりました。8月には日本の株式市場が大きく下落したことをきっかけに政策金利の引き上げ観測が後退して円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりましたが、その後は日本で政策金利の引き上げが意識されて円が上昇し、対ドル対ユーロで円高となりました。10月はユーロ圏で政策金利が引き下げられたものの、米国で景気の先行きに対する明るい見通しが広がり、ドルとの金利差が縮小するとの見方が後退したことを受けて円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。11月は日本で物価上昇が続いていることを背景に政策金利の引き上げ観測が高まって円が上昇し、対ドル対ユーロで円高となりました。

当ファンドの運用経過と結果

当期も、引き続き積立などのご購入により受益者の皆さまからお預かりした資金を利用して定められた投資比率に従って各ファンドへの投資を行い、株式と債券の比率が目標から乖離した局面では、比率が上昇したファンドを売却して比率が低下したファンドを購入することによりリバランスを行いました。当期は、株式市場の上昇が続いたことを受けて、主に債券ファンドへの投資を行い、株式ファンドの売却額が購入額を上回りました。

ここをCHECK!

<参考情報>

期中の売買及び取引の状況 (2023年12月12日から2024年12月10日)

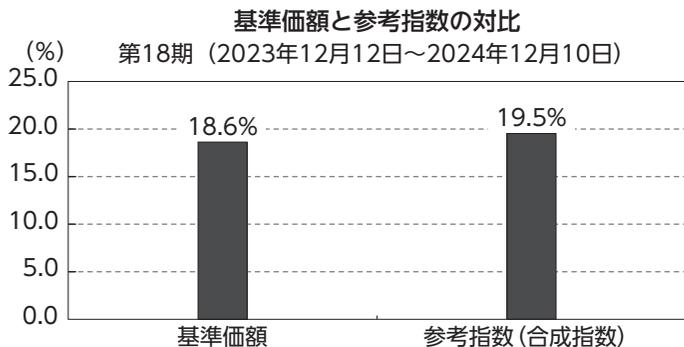
| 投資証券 | | 買付 | | 売付 | | |
|--------|--------|---------------------------------------|-----------|----------------|-----------|-----------------|
| | | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 | |
| 外 国 | アメリカ | バンガード・500・インデックス・ファンド | 千口 136 | 千米ドル 65,885 | 千口 214 | 千米ドル 105,222 |
| | | バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド | 千口 2 | 千円 60,000 | 千口 30 | 千円 770,000 |
| | | バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド | 559 | 5,530,000 | 179 | 1,770,000 |
| | アイルランド | バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド | 千口 - | 千米ドル - | 千口 28 | 千米ドル 4,300 |
| | | バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド | 40 | 5,300 | 82 | 11,400 |
| | | バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド | 1,305 | 146,100 | 183 | 21,200 |
| | | バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド | 千口 - | 千ユーロ - | 千口 68 | 千ユーロ 14,600 |
| | | バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド | 923 | 102,800 | 168 | 19,000 |

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満を切り捨てて表示しております。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- 当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込) とブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組み合わせた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。
- 参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

| 項 目 | 第18期 |
|-----------|-------------------------|
| | 2023年12月12日～2024年12月10日 |
| 当期分配金 | - |
| (対基準価額比率) | - |
| 当期の収益 | - |
| 当期の収益以外 | - |
| 翌期繰越分配対象額 | 17,350 |

- 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。原則として積立などのご購入により受益者の皆さまからお預かりした資金を利用して、目標とする投資比率に沿うように各ファンドへの投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整を行うことにより、投資を継続していただいている皆さまの資産の長期的な成長を目指してまいります。

ポートフォリオマネージャー 瀬下 哲雄

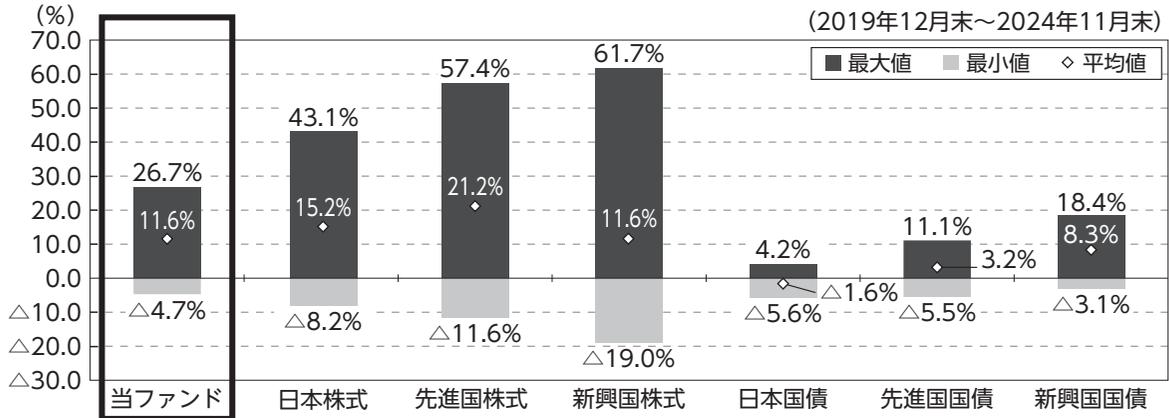
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

| | |
|-------------|--|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／内外／資産複合 |
| 信 託 期 間 | 無期限 |
| 運 用 方 針 | <p>信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、主として米国バンガード社が運用するインデックスファンドの中から資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに分散投資します。具体的な資産配分は運用状況ならびに市場状況に応じて随時変更(増減ならびに入替など)します。</p> <p>原則として、為替ヘッジは行いません。</p> |
| 主 要 投 資 対 象 | 有価証券に投資する外国投資証券を投資対象とします。 |
| 運 用 方 法 | <p>当ファンドの運用は、ファンド・オブ・ファンズ方式とし、米国バンガード社が設定したインデックス型の外国投資証券への投資を通じて、世界各国の株式および債券に実質的に分散投資します。</p> <p>株式と債券の基本資産配分比率は、原則として株式50%、債券50%とします。</p> <p>株式、債券の地域別配分比率は、それぞれの市場時価総額(規模)を勘案して行います。</p> |
| 分 配 方 針 | <p>毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象が少額の場合には分配を行わないこともあります。</p> <p>信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。</p> <p>当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。</p> |

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・2019年12月から2024年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ・上記の騰落率は、直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり決算日に対応した数字とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株式：MSCI ジャパン・インデックス(配当込)
 先進国株式：MSCI ワールド・インデックス(配当込)
 新興国株式：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込)
 日本国債：ブルームバーグ・グローバル国債：日本インデックス
 先進国国債：ブルームバーグ・グローバル国債：G7インデックス
 新興国国債：ブルームバーグ新興市場自国通貨建て国債インデックス

- ・全ての指数は米ドル建てのものをわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、先進国と新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited (以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークです。ブルームバーグは、ブルームバーグ指数に対する一切の専有的権利を有しています。ブルームバーグは、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関していかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限において、ブルームバーグはこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

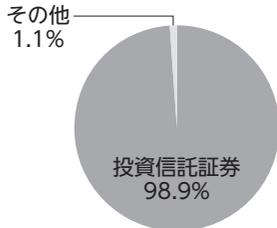
(2024年12月10日現在)

■組入ファンド

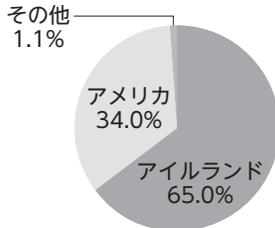
| | 第18期末(2024年12月10日) |
|---------------------------------------|--------------------|
| | 組入比率 |
| バンガード・500・インデックス・ファンド | 34.0% |
| バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド | 27.1% |
| バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド | 18.7% |
| バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド | 7.1% |
| バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド | 4.9% |
| バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド | 3.3% |
| バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド | 2.5% |
| バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド | 1.2% |
| その他(短期金融資産等) | 1.1% |
| 組入ファンド数 | 8銘柄 |

- ・組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・詳細は、運用報告書(全体版)に記載しております。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

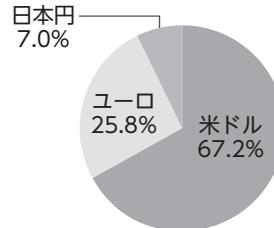
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・国・地域別配分は、投資しているファンドの発行国を表示しております。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。



ここをCHECK!

投資対象別に分類した組入資産の状況

■資産別配分

| 投資対象 | 組入比率 | ファンド数 |
|----------------|--------|-------|
| 株式を中心に投資するファンド | 49.8% | 5銘柄 |
| 債券を中心に投資するファンド | 49.1% | 3銘柄 |
| その他(短期金融資産等) | 1.1% | - |
| 合計 | 100.0% | 8銘柄 |

■地域別配分

| 投資対象 | 組入比率 | ファンド数 |
|------------------------|--------|-------|
| 米国を中心に投資するファンド | 61.0% | 2銘柄 |
| 欧州を中心に投資するファンド | 25.8% | 2銘柄 |
| 日本を中心に投資するファンド | 5.9% | 2銘柄 |
| 太平洋(日本を除く)を中心に投資するファンド | 1.2% | 1銘柄 |
| 新興国を中心に投資するファンド | 4.9% | 1銘柄 |
| その他(短期金融資産等) | 1.1% | - |
| 合計 | 100.0% | 8銘柄 |

- ・詳細は、「組入ファンドの概要」をご参照ください。
- ・小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

純資産等

| 項 目 | 第18期末 |
|---------------------|------------------|
| | 2024年12月10日 |
| 純 資 産 総 額 | 518,971,848,584円 |
| 受 益 権 総 口 数 | 195,852,562,876口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 | 26,498円 |

・期中における追加設定元本額は30,828,983,289円、同解約元本額は19,702,966,468円です。


ここをCHECK!

- ・第18期における金額ベースの追加設定額は76,815,629,750円、同一部解約額は48,483,690,031円です。結果、第18期は差し引き28,331,939,719円の資金流入となりました。
- ・純資産等の前期末の状況は以下のとおりです。

| 項 目 | 第17期末 |
|---------------------|------------------|
| | 2023年12月11日 |
| 純 資 産 総 額 | 412,876,014,212円 |
| 受 益 権 総 口 数 | 184,726,546,055口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 | 22,351円 |

組入ファンドの概要

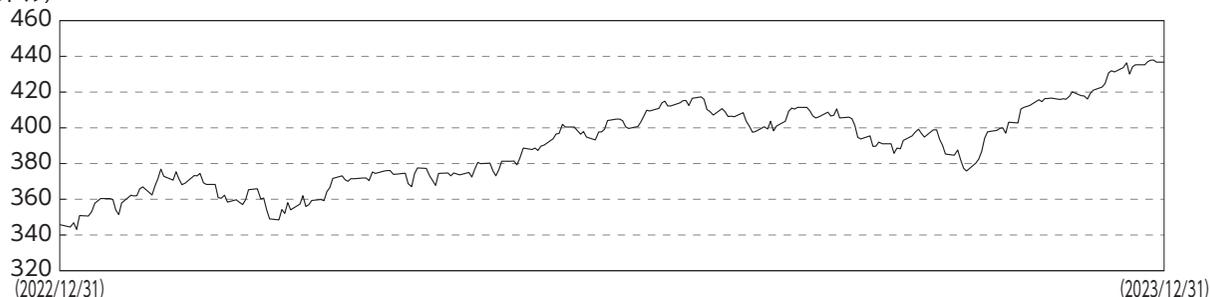
以下は当ファンドが投資対象としているバンガード社のファンドの現況です。詳細な内容につきましては運用報告書(全体版)に記載しております。

なお、以下の各項目の注記につきましては、22頁をご参照ください。

1. バンガード・500・インデックス・ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



・グラフは分配金再投資基準価額です。

■組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

| | 銘柄名称 | 投資比率(%) |
|-------|-------------------------|---------|
| 1 | Apple Inc. | 7.0 |
| 2 | Microsoft Corp. | 7.0 |
| 3 | Alphabet Inc. | 3.8 |
| 4 | Amazon.com Inc. | 3.4 |
| 5 | NVIDIA Corp. | 3.0 |
| 6 | Meta Platforms Inc. | 2.0 |
| 7 | Tesla Inc. | 1.7 |
| 8 | Berkshire Hathaway Inc. | 1.6 |
| 9 | JPMorgan Chase & Co. | 1.2 |
| 10 | Broadcom Inc. | 1.2 |
| 組入銘柄数 | | 505銘柄 |

■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■費用明細 (2023年12月31日現在)

| ファンド財産維持手数料率 | | 運用管理費率 (年率)(%) |
|--------------|-----|-------------------|
| 購入時 | 解約時 | |
| なし | なし | 0.03 |

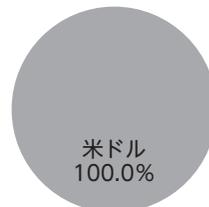
■資産別配分



■国・地域別配分



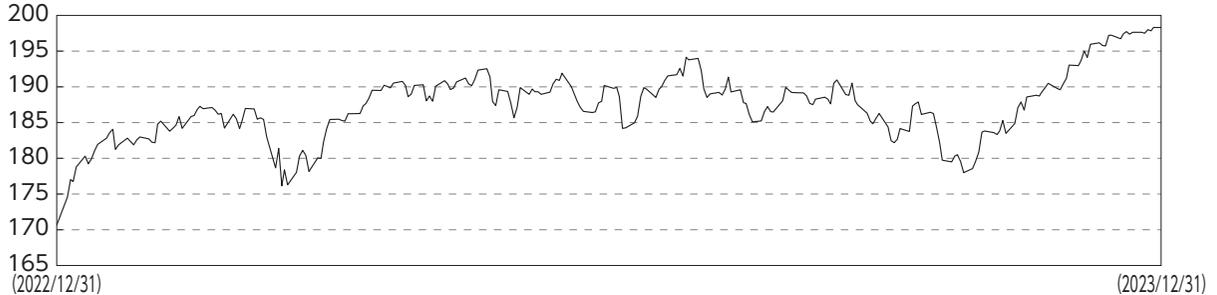
■通貨別配分



2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移

(ユーロ)



■組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

| | 銘柄名称 | 投資比率(%) |
|-------|-------------------------------------|---------|
| 1 | Novo Nordisk A/S | 3.2 |
| 2 | Nestle SA | 2.9 |
| 3 | ASML Holding NV | 2.8 |
| 4 | LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE | 2.1 |
| 5 | Shell plc | 2.0 |
| 6 | Roche Holding AG | 2.0 |
| 7 | AstraZeneca plc | 2.0 |
| 8 | Novartis AG | 1.9 |
| 9 | SAP SE | 1.5 |
| 10 | HSBC Holdings plc | 1.5 |
| 組入銘柄数 | | 431銘柄 |

■1万口当たりの費用明細

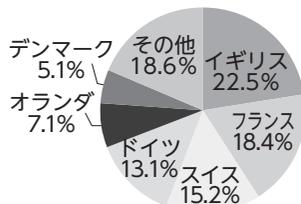
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■費用明細 (2023年12月31日現在)

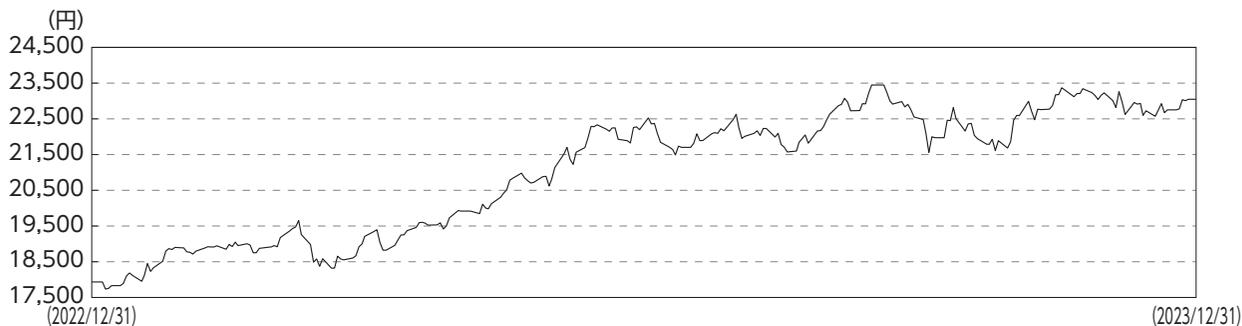
| ファンド財産維持手数料率 | | 運用管理費率 (年率)(%) |
|--------------|-----|-------------------|
| 購入時 | 解約時 | |
| なし | なし | 0.08 |

■国・地域別配分



3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■ 基準価額の推移



■ 組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

| | 銘柄名称 | 投資比率(%) |
|-------|-------------------|---------|
| 1 | トヨタ自動車 | 5.3 |
| 2 | ソニー | 3.3 |
| 3 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 2.7 |
| 4 | キーエンス | 2.3 |
| 5 | 東京エレクトロン | 2.3 |
| 6 | 信越化学工業 | 2.1 |
| 7 | 日立製作所 | 1.8 |
| 8 | 三井住友フィナンシャルグループ | 1.7 |
| 9 | リクルートホールディングス | 1.7 |
| 10 | 三菱商事 | 1.5 |
| 組入銘柄数 | | 225銘柄 |

■ 1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■ 費用明細 (2023年12月31日現在)

| ファンド財産維持手数料率 | | 運用管理費率 (年率)(%) |
|--------------|-----|-------------------|
| 購入時 | 解約時 | |
| なし | なし | 0.12 |

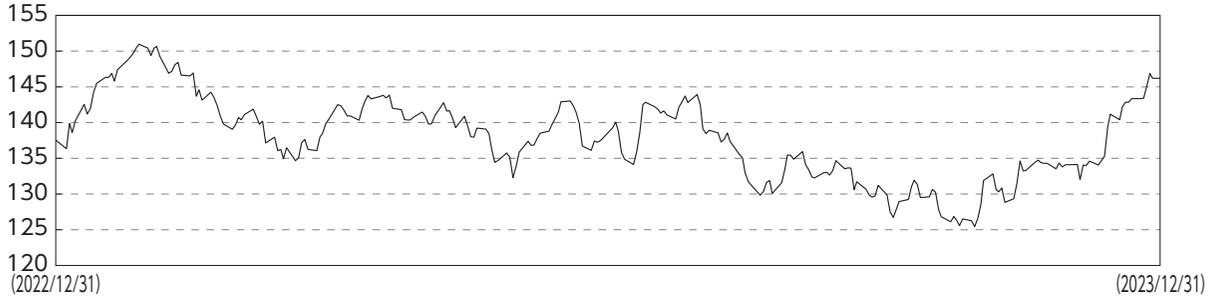
■ 国・地域別配分



4. バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

| | 銘柄名称 | 投資比率(%) |
|-------|--------------------------------|---------|
| 1 | BHP Group Ltd. | 9.3 |
| 2 | Commonwealth Bank of Australia | 6.8 |
| 3 | AIA Group Ltd. | 5.3 |
| 4 | CSL Ltd. | 5.0 |
| 5 | National Australia Bank Ltd. | 3.5 |
| 6 | Westpac Banking Corp. | 2.9 |
| 7 | ANZ Group Holdings Ltd. | 2.8 |
| 8 | Macquarie Group Ltd. | 2.5 |
| 9 | DBS Group Holdings Ltd. | 2.4 |
| 10 | Wesfarmers Ltd. | 2.4 |
| 組入銘柄数 | | 119銘柄 |

■1万口当たりの費用明細

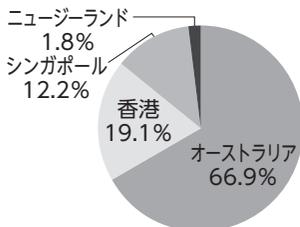
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■費用明細 (2023年12月31日現在)

| ファンド財産維持手数料率 | | 運用管理費率 (年率)(%) |
|--------------|-----|-------------------|
| 購入時 | 解約時 | |
| なし | なし | 0.12 |

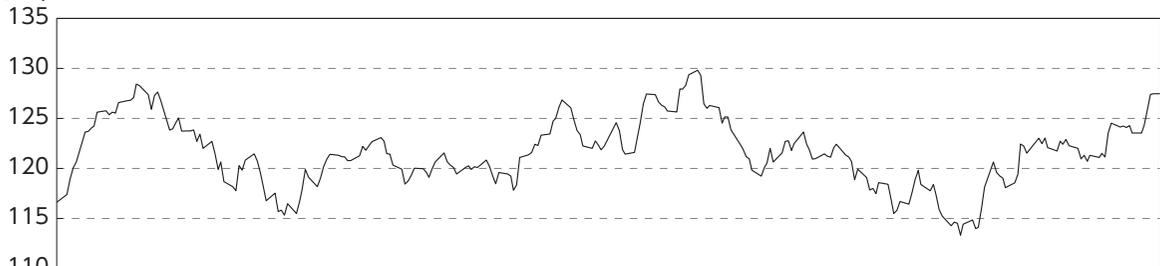
■国・地域別配分



5. バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



(2022/12/31)

(2023/12/31)

■組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

| | 銘柄名称 | 投資比率(%) |
|-------|---|---------|
| 1 | Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd. | 6.7 |
| 2 | Samsung Electronics Co. Ltd. | 4.6 |
| 3 | Tencent Holdings Ltd. | 3.5 |
| 4 | Alibaba Group Holding Ltd. | 2.2 |
| 5 | Reliance Industries Ltd. | 1.3 |
| 6 | PDD Holdings Inc. | 1.2 |
| 7 | Petroleo Brasileiro SA | 0.9 |
| 8 | ICICI Bank Ltd. | 0.9 |
| 9 | Infosys Ltd. | 0.9 |
| 10 | SK Hynix Inc. | 0.8 |
| 組入銘柄数 | | 1,451銘柄 |

■1万口当たりの費用明細

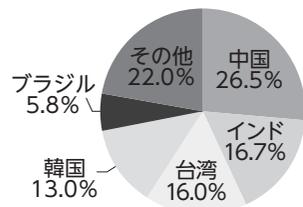
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■費用明細 (2023年12月31日現在)

| ファンド財産維持手数料率 | | 運用管理費率 (年率)(%) |
|--------------|-----|-------------------|
| 購入時 | 解約時 | |
| なし | なし | 0.16 |

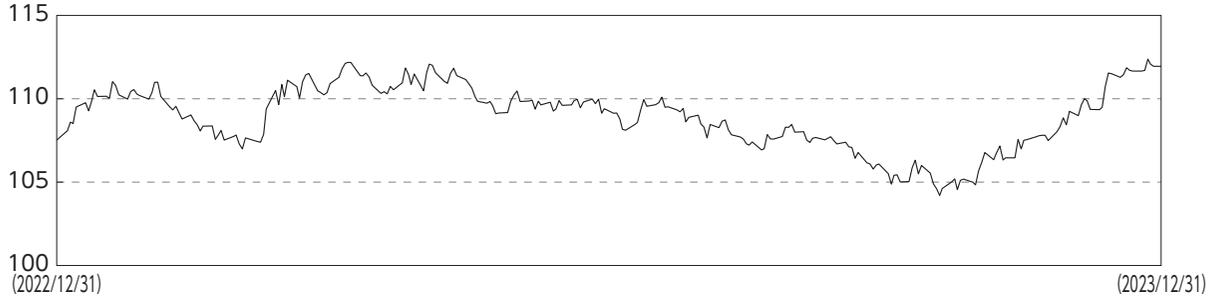
■国・地域別配分



6. バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

| | 銘柄名称 | 投資比率(%) |
|-------|-------------------------------|---------|
| 1 | US TREASURY NOTE (15/11/2032) | 0.96 |
| 2 | US TREASURY NOTE (15/5/2032) | 0.90 |
| 3 | US TREASURY NOTE (15/8/2033) | 0.90 |
| 4 | US TREASURY NOTE (15/5/2033) | 0.89 |
| 5 | US TREASURY NOTE (15/2/2033) | 0.89 |
| 6 | US TREASURY NOTE (15/2/2032) | 0.86 |
| 7 | US TREASURY NOTE (15/11/2031) | 0.85 |
| 8 | US TREASURY NOTE (15/8/2032) | 0.85 |
| 9 | US TREASURY NOTE (15/8/2031) | 0.83 |
| 10 | US TREASURY NOTE (15/5/2031) | 0.77 |
| 組入銘柄数 | | 361銘柄 |

■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

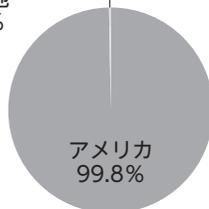
(ご参考)

■費用明細 (2023年12月31日現在)

| ファンド財産維持手数料率 | | 運用管理費率 (年率)(%) |
|--------------|-----|-------------------|
| 購入時 | 解約時 | |
| なし | なし | 0.06 |

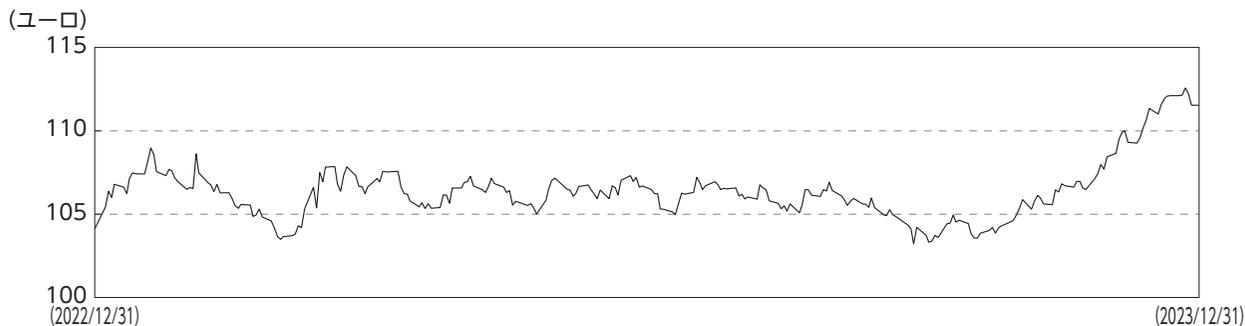
■国・地域別配分

その他
0.2%



7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■基準価額の推移



■組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

| | 銘柄名称 | 投資比率(%) |
|-------|---|---------|
| 1 | FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY BOND (19/10/2028) | 0.78 |
| 2 | FRENCH REPUBLIC BOND (24/9/2026) | 0.77 |
| 3 | FRENCH REPUBLIC BOND (25/11/2030) | 0.76 |
| 4 | FRENCH REPUBLIC BOND (25/2/2029) | 0.74 |
| 5 | KINGDOM OF SPAIN BOND (31/1/2026) | 0.72 |
| 6 | FRENCH REPUBLIC BOND (25/5/2028) | 0.68 |
| 7 | FRENCH REPUBLIC BOND (25/11/2028) | 0.67 |
| 8 | KINGDOM OF SPAIN BOND (31/5/2025) | 0.64 |
| 9 | FRENCH REPUBLIC BOND (25/10/2027) | 0.64 |
| 10 | FRENCH REPUBLIC BOND (25/2/2028) | 0.62 |
| 組入銘柄数 | | 1,047銘柄 |

■1万円当たりの費用明細

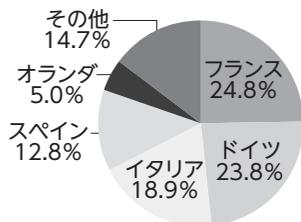
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■費用明細 (2023年12月31日現在)

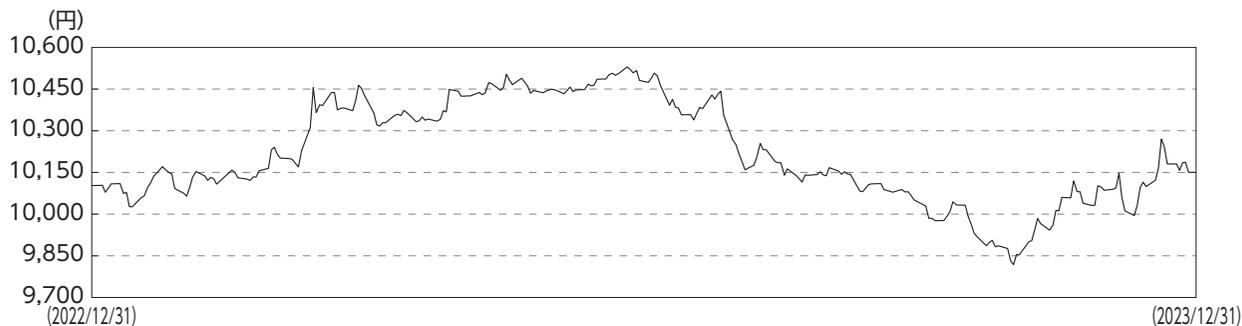
| ファンド財産維持手数料率 | | 運用管理費率 (年率)(%) |
|--------------|-----|-------------------|
| 購入時 | 解約時 | |
| なし | なし | 0.06 |

■国・地域別配分



8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■ 基準価額の推移



■ 組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

| | 銘柄名称 | 投資比率(%) |
|----|----------------|---------|
| 1 | 第154回利付国債(5年) | 1.01 |
| 2 | 第158回利付国債(5年) | 0.91 |
| 3 | 第371回利付国債(10年) | 0.89 |
| 4 | 第37回利付国債(30年) | 0.86 |
| 5 | 第153回利付国債(5年) | 0.85 |
| 6 | 第372回利付国債(10年) | 0.78 |
| 7 | 第455回利付国債(2年) | 0.77 |
| 8 | 第33回利付国債(30年) | 0.76 |
| 9 | 第35回利付国債(30年) | 0.76 |
| 10 | 第186回利付国債(20年) | 0.73 |
| | 組入銘柄数 | 353銘柄 |

■ 1万口当たりの費用明細

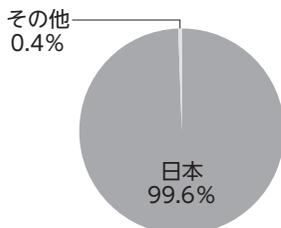
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

■ 費用明細 (2023年12月31日現在)

| ファンド財産維持手数料率 | | 運用管理費率 (年率)(%) |
|--------------|-----|-------------------|
| 購入時 | 解約時 | |
| なし | なし | 0.06 |

■ 国・地域別配分



- ・費用明細に記載されている運用管理費率とは、平均純資産総額に対する運用および管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。
- ・投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・バンガード・500・インデックス・ファンド以外の資産別配分、通貨別配分は、開示されていないため記載しておりません。

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング) システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。LSEG Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしています。それらの正確性については保証しません。

ウエルスアドバイザーアワード「新NISA成長投資枠WA優秀ファンド賞」は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、ウエルスアドバイザーが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

新NISA成長投資枠「WA優秀ファンド賞」については、https://www.wealthadvisor.co.jp/event/wa_award2023/をご覧ください。

当賞は国内公募追加型株式投資信託のうち、2023年12月29日における『NISA 成長投資枠登録のアクティブファンド』を選考対象として独自の分析に基づき、各部門別に総合的に優秀であるとウエルスアドバイザーが判断したものです。セゾン・グローバルバランスファンドが選出されたバランス型部門は、選考対象ファンドのうち、同年11月末において当該部門に属するファンド299本の中から選考されました。

※ウエルスアドバイザー株式会社(旧モーニングスター株式会社)

1998年3月27日の設立以来、約25年にわたり、国内の投資信託を中心とした金融商品評価事業を行ってまいりました。2023年3月30日付で米国 Morningstar, Inc. ヘブランドを返還し、以降、引き続き中立・客観的な立場で、投信評価事業をウエルスアドバイザー株式会社で行っております。